

11月4日は、真ん中の
MAP付き号外を持って

追手門学院大学

大学へ戻ろう!!



第76号

平成25年(2013年)9月1日

発行者 〒567-8502

茨木市西安威2-1-15

追手門学院大学校友会

会長 林田 隆行

電話 072-643-6135

FAX 072-643-6099

URL <http://ogu-koyukai.com>

E-mail info@ogu-koyukai.com

校友会活動を 振り返って

追手門学院大学校友会

会長 林田隆行



春学期ご卒業のみなさん、ご卒業おめでとうございます。心からお慶び申し上げます。

追手門学院大学の卒業生として、胸を張って、社会へ大きく歩みだしてください。そして校友会会員として、母校の発展のために、我々と一緒に活動に取り組んでいただければと思います。

大学校友会は、今年四月から新体制となり、五十九名の評議員の皆さんがそれぞれの委員会で、積極的に校友会活動を展開して頂いております。

企画渉外事業委員会では、

在校生と一緒に、オープンキャンパスの日に、茨木駅前清掃奉仕活動を実施してきました。

新たに設置された支部・同窓会支援委員会は、各地の支部総会へ出席し、支部活動支援のため、支部役員のみなさんと懇談を重ね、新支部設置にも取り組んでいただいています。また、同窓会開催にも力を入れ、還暦同窓会の開催企画や、各ゼミ会、学年同窓会を十一月四日に開催する予定です。体育文化振興支援委員会では、各クラブOB会の復活や再生に力を入れ、これも十一月四日の校友会総会、懇親会終了後、クラブOB会の総会として開催する企画をたてていただいています。

かわるもん追手門の合言葉で大学改革が進められる中、大学校友会も母校の発展のため、また会員の親睦をさらに深めるために活動を続けて参ります。会員のみなさんには、校友会活動に、積極的にご参加いただきます様、心からお願い申し上げます。

追手門学院大学 卒業生としての 誇りを胸に

追手門学院大学学長

坂井 東洋男

春学期卒業おめでとう。

四季折々に見事な美観を誇る追手門学院大学キャンパスで過ごした学生生活は、刺激的で、満足できるものだったに違いありません。その思い出は、今後、様々な試練を乗り越える際の心の支えになるものと信じています。

卒業を迎えるに当たり、志をとげた方もいらつしやれば、漠たる夢や願望を持ちながらも、ついに果たさなかつた、という方もいらつしやることでしょう。しかし、強く願った思い、そのために力を尽くした努力は、すぐには実らなくても、



地下茎となって、いつの日にか芽を吹き、枝葉を伸ばし、そして蕾を膨らませて開花するものです。人生は未知の可能性を秘めているものであることを忘れず、精一杯がんばっていたきたい。

社会に出ると、どうしても目先の立場や現象にとらわれがちですが、想像力も働かせて、視点を変えるなど、視野を広く持ち、学生時代に培った、幅のある見方を失わないでいただきたい。

いかなる局面においても縮こまることなく、追手門学院大学の卒業生であることに誇りを持ち、志のある胸を張った人生でありますように。カラ元気も元気のうち。

みなさんの人生に幸多からんことを祈っています。

皆さんの母校である追手門学院大学は、北摂の地を拠点に、時代や社会の先端の動きに鋭敏なアンテナを張り、後追いや物まねではない個性豊かな大学として、皆さんが誇りを持てる母校にしてゆきます。

未来へ羽ばたけ

追手門学院理事長

川原 俊明

春学期ご卒業おめでとうございます。みなさんには追手門学院大学卒業生として誇りを持って社会で活躍



されることを期待します。

社会は、未来を担う新しいタイプの若者の登場を求めています。従来の大量生産型企業社会では、金太郎飴型の画一的労働形態が望ましいとされました。社員

の個性や独自性、創造性などは二の次でした。このため企業が人材採用のよりどころとしたのが、いわゆる有名大学出身者でした。

性のある人材が求められます。大学に対する社会的評価も東大を頂点とした時代は終わりを告げようとしています。

いまからの社会が求めようとする人材は、社会性、人間性のある人材です。

いまこそ追手門学院の建学の精神に基づいた社会有為の人材こそ社会で活躍する番です。追手門学院は125年の歴史と伝統を誇る総合学院として各界に多くの人材を輩出してきました。追大卒業生も卒業生人脈をフルに活用してください。

卒業生人脈こそが追手門学院の大きな財産です。母校は卒業生のみなさんを生涯応援します。

追手門学院大学は、今から大きく変革します。新学部設置や既存学部の改組、基盤教育機構による学部横断型教養教育の実施、世界的視野をめざすグローバルキャリア教育など、卒業生のみなさんの期待にさらに応えられる大学に変革します。みなさんとともに追手門学院大学を発展させましょう。

新しい企てをもつて発展に

追手門学院大学校友会

副会長 賛田 肇

校友会員の皆様こんにちは。私は企画渉外事業委員会と広報委員会の担当副会長 賛田で御座居ます。日頃よりの皆様方の校友会活動に対するご理解ご支援ご協力に誠を持って厚く御礼申し上げます。



さて私共の両委員会は、従来から行われていた事を尊重し全てを行い良き処を伸ばし、改善すべきは改善する。またその上で、互恵・親睦・奉仕の三点を念頭に描いた新しい企てを提案し行い、発展に繋げたく存じます。委員会の皆様にお願

いし、母校に、追手門学院大学に、追手門学院に、後輩たちが在校生に、そして勿論、同窓の学友の皆様、更にそれらを取り巻く諸団体や学外の方々にもその精神で、委員会を挙げ取り組んで頂いている次第で御座います。評議員の皆様はもちろんの事、一般校友の皆様方におかれましても、校友の為・母校の為・後輩在校生達の為にこの様なというご提案が御座いましたら、ぜひお聞かせください。

広報委員会は従来通りの、会報の編集発行に関する部会・HPのリニューアル検討も含め運営する部会・メールマガジンに関する部会そして新たにフェイスブックを運営する部会と、新広報システムを研究し推進する5つの活動部会からなります。新たな企ての我が校友会のフェイスブックの運営を既にご存じの方もたくさんいらっしゃるでしょうし、新広報システムよりマスケットキャラクターの公募もやがてまもなく始まるでしょう。多いにご期待頂き振るってご応募の程お願い致します。

企画渉外事業委員会は6つの活動領域から成り、そ

の一つが「評議員会 月例運営進行部会」その他に、校友会を取り巻く外郭団体や学外との友好親睦を図る「友好親睦部会」また、将来の財政や経営、そのほかに奨学生制度等を将来目的で検討する「将来計画部会」、皆様のお手元のプロフィールシート等から会員情報を収集し、就職支援や職業分類などを図る「会員情報／職業分類部会」、在校生に様々な角度から支援を行う「在校生支援／職業奉仕部会」、交換留学生や留学生と行事などを行い交流と奉仕を図る「国際交流／留学生奉仕部会」の6つです。

両委員会ともに、活動計画と行程を作成し、実作業にかかります。毎月第2水曜日梅田サテライトにて18時より20時まで両委員会会議を行っております。お時間ご都合宜しき方、他の委員会の方々もご気軽に参加ください。

今後とも校友会活動にご理解ご協力ご支援賜りますようお願いいたします。有難う御座います。

支部便り

九州支部

九州支部の

活動報告と今後の方針

九州支部長 岩崎 陽一

①支部総会の報告

九州支部は6月8日に、福岡にて研修会・支部総会・懇親会を開催致しました。研修は、世界一の涅槃像のある南蔵院のご住職のご講話を拝聴いたしました。心打たれ、涙したり癒されたり、夢をいだいたり、参加された皆さんの気持ちは人間のすばらしさを再発見されたようでした。その後、総会・懇親会を行いました。仕事の都合で総会に参加できなかった皆さんも、博多駅での二次会に合流いただき盛会のうちに終えることが出来ました。今回は長崎県、鹿児島県からの参加をいただきましたし、20代の若い女性会員も参加お手伝いいただきました。世代交代の準備の兆しが見え始めました。今後も皆

さんのご支援よろしくお願
いします。



②今後の活動方針

当支部は、青年部の活動等少しずつ活性化が見られるようになりました。そこで今後九州支部は支部本部とし、各県毎に小グループでの活動をお願いすることになりました。九州各地で活躍中の会員の皆様が、身近な地域で少人数での活動を進めて頂きたく願っています。また、卒業された皆さんとの交流も広げ、先輩諸氏のそれぞれの専門性の活用や若い皆さん方のパワーを結集し相互支援の関係を構築できればとも希望しています。

今後、支部長の依頼を受けた各地区の代表の方から参加依頼がありますので是非各地域での懇親・交流を広げて下さい。

京都支部

京都支部活動について

京都支部長 岡 正樹

京都支部活動として会報75号にて紹介致しましたが、今年度は京都アワーが御座いませので、京都支部で講演会及び支部総会を開催する運びとなりました。その点を変更し、改めて今までの支部活動の報告とピアールをいたします。

春には支部の集いとして一昨年は自己啓発セミナー、昨年はぶらりとアメリカ旅行……20年と題して人生談を語っていただき、会場はその生き方に引き込まれました。



今年は20期生社会福祉法人わかば園々長 吉岡 竜良氏に、保育園で元気に子育てー子供は未来の宝物ーという演題で講演いただきました。

した。吉岡さんの園児に対する思いや、社会の変化や地域社会の中での保育園のあり方を通じて、いろんな気づきが出来た講演でした。何よりも園での子供たちが映ったスライド説明に、吉岡園長の子供たち以上の笑顔が素敵でした。



そして、夏 7月20日にはキャンパスプラザ京都(京都駅ビックカメラ前)にて、支部総会、そして「私と写真」と題し、亀村 俊二(1974年卒業 写真家・京都精華大学非常勤講師)氏の講演会を行い、併せて新会員歓迎会を行いました。また終了後は懇親会を行い会員同士の親睦を図って

います。秋には研修会(名所見学)等、年に春・夏・秋とイベントを企画し日々出会い、日々感動、日々ときめき、これからもずーと！との思いで活動しています。

中国支部

ようこそ中国支部へ

中国支部長 筒井弘祐



平成25年度春学期卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。私は中国支部長の筒井と申します。6期経済学部卒業です。

現在中国5県で、広島・岡山・山口・鳥取・島根と広範囲にわたります。私は岡山在住ですので、今まで岡山を拠点に総会を開いておりました。追大アワーがなくなったのをきっかけに、他県で開いてみようと思ひ

10月5日に広島で開こうと思っております。初めてなのでどのような会になるか楽しみなのですが、茶話会的な物でも良いのではないかと思います。広島在住の方に連絡をとり、少しでも集まって頂ければと思います。中国支部総会等の案内が届きましたら、友達やグループやゼミ等の皆様を誘っていただき、ご参加くださいます様お願い致します。

この校友会は卒業され、社会人となった皆様方の少しでもお役に立ちたく活動している組織です。何でも相談があればご利用下さい。皆様のご活躍を期待しております。

これからが 人生の始まりです

四国支部

四国支部長 中川 純

9月度ご卒業のみなさん、社会人としての新たな門出おめでとうございます。

今まで学んだことを活かし、社会にどう貢献してい

くのか実践する時がやってきました。そういう意味で



「社会に出る事が本当の人生の始まり」と言えると思います。

私は大学で少林寺拳法に出会い、現在もその修行を続ける中で得られる様々な楽しさ、素晴らしさ、そしてそれが社会生活に活用できることを今、身をもって実感しています。

皆さんも、大学で始めた事、子供の頃から続けている事、これからチャレンジしようと思っている事、何でも構わないと思います。続ける中で得られる楽しさを実感するとともに、一つの事を継続することが社会に活かせるということを体験して欲しいと思います。さて、校友会四国支部では、年に1度、支部総会と懇親会を開催し、会員の交流を図っています。そして

2013年度は、大学より中村このゆ先生（心理学科教授）をお招きし、講演会を開催する予定です。

今後も、大学から先生をお招きし、先生との再会、また大学の雰囲気味わえる場を創造していきたいと考えています。

四国支部は、現在、香川県を中心に活動を行っています。5年後には、四国四県持ち回りで実施できるよう盛り上げて参りたいと思います。四国に居られる方、四国で就職される方、是非支部活動にご参加ください。新人の皆さまのご参加を心からお待ちしております。

平成25年度東京支部 定期総会と懇親会の ご案内

東京支部

東京支部長 春名 弥生

皆さま方におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。母校は2016年4月で創立50周年を迎えます。東京支部も設置後約20年経過し、1都6

県在住約550名で組織され、会員相互の親睦と母校の発展に寄与すべく活動を続けております。とは云うものの近年の支部総会への参加者が低迷する現状です。支部活動のより一層の活性化を図りたく会員皆様方のご理解とご協力をお願い



する次第です。まずは皆様方に支部総会へ出席頂き、顔を合わせ親しくお話出来る事が肝要かと考えます。ご多忙とは存じますが、ご出席賜りますようお願いいたします。詳細については、9月末発送予定の往復ハガキをご参照の上、出欠のご返事の程よろしくお願い申し上げます。

東京支部総会

●日時 平成25年11月9日（土）15:30

●場所 Orange（オレンジ）東京都港区赤坂9-7-1 東京ミッ

ドタウンイースト1階
●会費 5000円（当日徴収）

平成25年度東海支部 定期総会と懇親会

東海支部

東海支部長 高井 郁子

会員の皆様にはご健勝のことと拝察申し上げます。

さて東海支部におきましては、9月7日に梶原・葉山両先生と校友会本部の役員方をお迎えし、支部校友とともに平成25年度の定期総会を開催いたしました。総会終了後、名古屋駅近くの中国料理「吉珍楼」で懇親会を開催し、東海支部の発展に誓いを立て閉会いたしました。

総会を終了後、名古屋駅近くの中国料理「吉珍楼」で懇親会を開催し、東海支部の発展に誓いを立て閉会いたしました。



ご多忙にもかかわらずご参加賜りました皆様方に感謝申し上げます。

活躍する校友

追大卒の建築士

一級建築士事務所

株式会社アンビエンテ

主宰 田中克茂

(30期生 経営学部)



1999年3月、生物研究同好会の部室。「なんでここに来るねん!」「ちょっとやめろつて!」「自分とこの部室に帰れ!」「そんな爆弾もって来るなやつ!」と様々な悲鳴に近い声があがっていた。まさに単位通知表を開封する瞬間である。当時4回生であった私は、44単位も残してこの時を迎えてしまっていた。60単位受講中44単位以上取得しないと留年が決定する。私は地理歴史研究会に所属し、3回生時は部長をしていた。自クラブの部室

で単位通知表を開封した場合、万が一留年した時は後輩にみじめな姿をさらすだけでなく、部室を何とも言い難い雰囲気にしてしまう。元部長としてそれだけは避けなければならぬ。がしかし、卒業出来た時は誰かと喜びたい。そんな複雑な気持ちの私は、ほのぼのとした雰囲気の中で生物研究同好会の部室を開封場所に選び、見事部室ジャックに成功したのである。開封の結果は無事卒業であった。当然その場の皆と歓喜したが、心のどこかには不安があった。私の両親は神戸北野で「アンビエンテ」という名のデザイナーズブランドのブティックをしていました。私もその会社を継ぐべく追手門学院大学経営学部経営学科に入学しました。阪神大震災にて状況が一変。被災地神戸で高級ブティックは必要なくなってしまう。就職活動をしている時に「自分はサラリーマンではなく、アンビエンテがしたかった。」と強く思いました。しかし、当時の私にはどうする事も出来ません。

追大卒業後、母方の実家が工務店をしている事もあり京都建築専門学校に入学しました。しかし、当時は文系大学出身の自分には理系の二級建築士試験は難しすぎると感じ、又就職して頑張っている仲間の姿に焦りを感じていました。そんな時、ある建築家の先生に出会いました。この時、設計事務所なら「洋服」が「建物」に変わっただけでデザインも経営も同じ事が出来る。と憧れ、同時に「アンビエンテの復活」が新しい目標になりました。勝手なものでも「大学卒やし、二級建築



士試験位合格出来る。」と気持ちが一変。180度変わり、必至で建築の修行並びに資格の勉強に邁進しました。一級建築士試験も難関で大変でしたが、それ以上に目標もなく「文系→理系へのとまどい」を抱えた大学卒業後2〜3年が非常に大変でした。

2010年より建築設計事務所として建築の工法や技術はもちろんの事、それ以上に「建物を使う人の笑顔を見たい。幸せな人生のお手伝いをして役に立ちたい。」というコンセプトをもとに日々奮闘しております。

先日は「女性向けのヘルシーなお惣菜さん」をコンセプトにした店舗併用型住宅を竣工しました。一番の問題は敷地に迫り来る信号機(移設不可能)です。建物ファサード(外観正面)を台無しにするばかりではなく、お客さんの店内引込にも大きく影響します。建物の角をすみ切りし、入口と両側に大きなFIX窓を設けることで

店に入りやすい仕掛けをほどこしました。又、建物ファサードの視点を変える事で信号機と店舗をあえて一体化し自然な外観を演出しました。引渡し時は手塩に掛けた娘を嫁がす気分です。現在は同じ追大出身吉岡竜良さん(20期卒・保育園園長)とわかば園の建替え計画をしています。私には2人の娘がいるのですが、娘達を自宅近くの保育園に送ってからわかば園の設計・保育園見学と一日中保育園漬けの生活です。「追大卒業×追大卒業建築士」どのような保育園に建替わるのかとても楽しみです。

プロフィールシートについて

前号(74号)まで掲載並びにご記入・ご返送を頂いていましたプロフィールシートは校友会ホームページに移管しました。

プロフィールシートの記入は左記URLからお願ひ致します。

<http://www.ogu-koyukaicorp/profile.html>

遠山ゼミの皆さんへ

遠山先生からのメッセージ
私は、1966年の大学
発足当初から2006年の
大学院特任教授退任まで、
実に40年の長きにわたりつ
とめました。

この間、遠山ゼミ卒業生
は、1970年4月卒業の
1期生から2006年3月
卒業の37期生まで、膨大な
数に上ります。

11月4日のホームカミン
グデーでは、できるだけ多
くの卒業生と久しぶりにお
会いし、語り合いたいと思
います。



名簿の整備をしております。
住所など変更のある方
は11月4日、お会いしたと
きにご連絡ください。

校友会活動の活性化・ 透明化への基礎づくり

総務委員会 野出 靖宏
(83 経済学部経済学科)

総務委員会では、『校友会
活動の活性化・透明化への
基礎づくり』をモットーに、
会則の見直しを中心に活動
しています。

卒業生のみなさんが、母
校のことをもつと想ってい
ただけるように、校友会活
動が身近に感じられ参加し
ていただけるように、各委
員会が活発に活動をしてい
ます。総務委員会では、こ
の活動の後押しをするため
現在の会則や諸規程につい
て見直しを行っています。

校友会の活動を活性化し
ていくことで考えられる諸
問題について、一定のルー
ルで解決できるように会則
の改正や新たな規程の制定
を検討しています。

具体的には、卒業生が1
期生（1970）～44期生
（2013）までおられる
中で、校友会活動の中心的
役割をお願いする評議員の
方々や各支部で役について
おられる方々の半数以上が
1期生（1970）～10期
生（1979）の方々とな
っており、11期生（198
0）～44期生（2013）
までの方々でもっと多くの
評議員や各支部の役に就い
てもらうにはどうすれば良
いか。校友会活動に伴う費
用については、予算化する
のは当然ですが、多くのみ

なさまに何にどう使ってい
るのか理解していただくた
めの表記をどうすれば良い
か等々です。

母校の追手門学院大学で
は、現在様々な改革を実施
されています。これは、18
才人口の減少に伴い多くの
大学が淘汰されていく中で、
追手門学院大学が学生から
は当然ながら地域や社会か
らこれまで以上に必要とさ
れる大学として変革してい
くものです。

この改革の中でも校友会・
卒業生の存在が大きく注目
され、卒業生のみなさまの
活躍が大いに期待されてお
ります。卒業生の活躍が母
校の追手門学院大学が大き
く飛躍する原動力となるよ
う校友会においても卒業生
のみなさまからのご意見や
ご指摘、お教示をいただき、
会則をはじめ新たな制度づ
くりを行ってまいります。

社会学部支援同窓会 ソキウス総会のお知らせ

11月4日、社会学部支援
同窓会ソキウスの第8回総
会並びに懇親会を、下記の
要領にて開催いたします。

開催日時 2013年11月
4日（月祝） 13:30頃よ

り（ホームカミングデー
パーティー終了後）

開催場所 大学食堂棟3F
スタッフルーム

会費 卒2,000

但、卒業後、5年間（40
期～44期）は会費免除です。
連絡先

Yoshitiko_Mogawa@
office.otemon.ac.jp（藻川副
会長のアドレスです）

TEL 072-641-9608

072-643-6135

*準備の都合上、事前にご
連絡頂ければ幸いです。

今年の企画

- ① 吉田、矢谷両先生から
近況のお話とミニ講和
- ② 道盛会長よりミニ講演
「吾に魅せられて」

マスコミ研究会 OB・OG会の発足

昨年のホームカミングデー
において、マスコミ研究
会創部以来初めてのOB・
OG会を発足することが出
来ました。

本会は、1期生の先輩が
現代研究会というクラブを
発足させ、2期生に繋がれ

たところから創部されてい
ます。

この繋がりを縦（先輩・後
輩）に、横（同期）に広げ、
数人の繋がりがから今では百
数十名を超える繋がりにな
ろうとしています。

まだまだ連絡出来ていな
い方も多数おられますがこ
の紙面をお借りしてお詫び
するとともに今後もホーム
カミングデーで開催します
同窓会に是非ともご参加い
ただくようお願いします。

今年の高島鞆之助賞は 藤尾政弘氏に！

七月六日（土）、大阪城ス
クエアで学院後援会の集い
が開催され、今年の高島鞆
之助賞が、8期生の藤尾政
弘氏（株フジオフードシス
テム 代表取締役社長）に
贈呈されました。

高島鞆之助賞は、卒業生
が学院の一員である意識と
一体感を醸成し、卒業生一
人ひとりの励みとするため
社会に貢献し、または顕著
な業績をあげ、学院の発展
名誉及び信用の向上に寄与
された方を表彰する制度で
す。

号外!!

安威の丘で 大同窓会を!

追手門学院大学校友会

十一月四日(月祝)、母校でホームカミング
デイが開催されます。

これに合わせて大学校友会では、校友会総
会と大同窓会の開催を企画しています。

十時三十分から6号館二階の優勝ホールで、
川原理事長、坂井学長以下大学執行部のみな
さまをお招きして、大学校友会の総会を開催
いたします。

大学校友会は今年の四月から新体制となり
ました。今年は、校友会設立の原点に戻り、母
校・追手門学院大学の発展と、会員である追
大卒業生の親睦をさらに深めるため、委員会
活動を活発に展開してまいりました。

総会では、その委員会活動報告とともに、支
部報告や同窓会開催支援とともにはじめた各
クラブOB会のご紹介などを行う予定です。

また、頑張る追大生のご紹介として、津軽
三味線全国大会で優勝した佐山千尋さんの演
奏をお楽しみいただきます。

ホームカミングデイのパーティは例年通り、
食堂棟で開催されます。

食事の後は二号館と四号館を使って、還暦
同窓会(七期生の集い)、還暦+1(六期生
の集い)をはじめとして、一七期生の会、二
七期生の会、三七期生の会(それぞれ五〇歳
四〇歳、三〇歳同窓会)を、また文化会・体
育会の各クラブOB会総会も合わせて開催し
て頂く予定です。

十一月四日(月祝) 安威の丘で大同窓会を
開催いたします! 同期のみなさんをお誘い合
わせのうえ、ぜひご参加ください。

追手門学院大学校友会 会長 林田 隆行

体育会、文化会の
各クラブに所属して
おられた校友の皆さん!

体育文化振興支援委員会

永井 秀明

久しぶりに懐かしい先輩、
同期、後輩諸氏と楽しい一
時をお過ごしになりませ
んか? 校友会評議員がお世話
致します。

11月4日(月)に毎年恒
例のホームカミングデイに
併せて、本年は多くの校友
の方々のご参集を得て校友
会総会を優勝ホールで開催
致します。総会后、食堂棟
でのホームカミングデイで
懇談戴き、その後、各クラ

ブ毎にお集まり頂けるお部
屋をご用意致します。

是非、この機会に懐かし
い母校、追手門学院大学に
お越し下さい。校友会評議
員一同お待ちしております。
本年、設けられました体
育文化振興支援委員会では、
下記クラブに所属されてお
られました校友の方々から
のご連絡をお待ちしており
ます。又、ご友人が所属さ
れていたと言う情報でも結
構です。

合わせてお待ちしております。

該当クラブ名

・合気道部・空手道部・サッ
カー部・ソフトテニス部・

ニューサイクリング部・ハ
ンドボール部・バレーボ
ール部・陸上競技部

映画研究部シネマクリエ
イター・華道アトフラワ
ー・ギター部・考古学
研究会・茶道部・児童研究
会・社会福祉部・写真部・
書道部紫水会・生物研究同
好会・美術部・旅行研究会・
レクリエーション研究会・
軽音楽部・ESS・地理歴
史研究会

校友会総会、ホームカミ
ングデイでは多くの方々に
お楽しみ頂ける様、評議員
一同頑張りますので、校友
の皆さん応援宜しくお願い
致します。



11月4日(日)は、
ホームカミング・デーに
参加を!!

校友会総会委員長

高本 優一

大学50周年を3年後(2016年)に控え、また、校友会も4月から新体制に移行し、これまで以上に活発に活動しております。50年の節目の年を盛り上げるため、校友会はやります!手始めに、今年の総会で600人を集めます。そこで、この数ヶ月のわれわれの取り組みや活動を披露します。また、向こう3年間の夢も語ります。校友のみなさん、ふるってご参加ください!

出席のご返事をお願いします

※同封のハガキにて
10月10日までにご
出欠をお知らせ下
さい。
※3部は各同窓会に
分かれて行います。
参加希望の同窓会
の番号に丸をつけて
お知らせ下さい
(複数選択可能です)

大同窓会 開催

校友会本部、各種案内、
グッズ販売テントは1号
館前です。皆様のお越し
をお待ちしております。

11月4日のタイムスケジュール

1部・校友会総会

10時30分～11時30分
優勝ホール(6号館2階)

佐山千尋さん(2013年度 津軽三

味線全国大会優勝者・14ページをお読み
ください)の演奏をお聴きいただけます。

2部・懇親会

12時～13時30分

食堂棟1階

アメモリOB有志の皆さんの演奏もお楽
しみてください。

3部・大同窓会

13時45分～15時

(2号館及び4号館にて開催予定。詳細は
当口ご案内します)

①各クラブOB会

②還暦同窓会 2日目(昭和28年生まれ)

③還暦プラス1同窓会(昭和27年生まれ)

④50歳同窓会(昭和38年生まれ)

⑤40歳同窓会(昭和48年生まれ)

⑥30歳同窓会(昭和58年生まれ)

⑦経済学部同窓会

⑧経営学部同窓会

⑨心理学部同窓会

⑩社会学部同窓会(ソキウス)

⑪英米(英コミ)同窓会

⑫東洋(アジア)同窓会

⑬遠山ゼミ同窓会

その他催し物

●グッズ販売

●卒業アルバム展示

●初代学長 天野利武展

イベントの紹介

トークショー

日 時：11月3日 15:00～16:00
場 所：優駿ホール
ゲスト：西内まりや
(ファッションモデル・女優)

ゲストコンサート

日 時：11月4日 17:00～
場 所：体育館
ゲスト：BENI
チケットは「ぴあ」で

学生FDスタッフイベント

日 時：11月3日、4日
場 所：4402、4403教室
内 容：他大学生との
イベントを実施予定

お笑いライブ

日 時：11月3日 17:00～
場 所：体育館
ゲスト：未定

お化け屋敷

日 時：11月3日 3日、4日
場 所：3101教室



第47回将軍山祭 模擬店

	さくら径	2号館掲示板前	1号館前	計
11月3日	17店舗	6店舗	9店舗	32店舗
11月4日	24店舗	8店舗	15店舗	47店舗
11月5日	19店舗	8店舗	15店舗	40店舗

6号館前に茶道部の店舗が開設されています。

展示について：5号館1階に集中させています！

将軍山会館が
開館されて5周年

将軍山会館は、学院創立120周年と大学創立40周年記念事業として、校友会の基金をもって建設しました。2008年6月28日に竣工し、本年度5周年を迎えました。記念しまして6月28日には、先着50名の方に懐かしい1号館を描いたペーパーウェイトを手渡ししました。在校生達は、造幣局製のブロンズ賞牌に大変喜んでくれていました。

卒業生のみなさんも、ホームカミングデーには是非お訪ねいただき、展示されている懐かしい品々をご覧ください。あの楽しかった時代にタイムスリップして下さい。

将軍山会館に、各クラブノート、各ゼミノートの設置を始めました。皆さんの学生時代の思い出を記帳してください。このノートに書き繋いで行くことで、クラブやゼミの輪が広



がっていきます。ご来館をお待ちしております。
ご自宅に

「思い出の品」が
眠っていませんか。

館内には学校史展示室が設けられています。ご家庭に眠っている品(教科書・ノート・プリント・クラブ写真・指定体操服等)が御座いましたら、展示又は保存させていただきます。ご連絡をいただければ幸いです。

校友会副会長

吉田 浩幸

大学創立50周年
記念グッズの販売!!

大学創立50周年を記念しまして、ロゴマーク入りグッズを大学が制作されました。



ボールペン、シャープペンシル、2色ボールペン+シャープペンシル、USBメモリ、クリップ、マフラータオル、Tシャツ、ネクタイ、マグカップなど揃えられております。広く卒業生のみなさんにも50周年の記念に是非お手元において下さい。

11月4日、校友会は1号館前にて記念グッズを販売します。校友会本部のテントまでお越しください。

※お買い上げいただいた皆様には50周年記念ステッカーを先着100名の方に差し上げております。

※価格・商品詳細につきましては、左記URLをご覧ください。

〈詳細はこちら〉

http://www.otemon.ac.jp/otm_50th/index.html

Facebookに
「いいね!」を!

校友会ホームページ、メールマガジンと共に、Facebookで校友会活動並びに母校のイベント、在校生達の対外試合の最新情報をお伝えしたいと考えています。

Fbならではの、速攻性や写真を活用し、より充実した情報をお届け致します。みなさまぜひ「いいね!」



をお願い致します。

Fb「追手門学院大学校友会」にて検索下さい。

また、ホームカミングデーの当日にFbへの投稿をドンドンしましょう。



JR茨木駅、 阪急茨木駅周辺の 清掃奉仕活動

このたび追手門学院大学校友会と大学との協同で7月14日(日)9:00~10:30に行われました阪急茨木駅周辺の清掃奉仕活動には、学生さんが30名、校友会員15名の45名の人員で、二つの班に分かれてJR茨木駅周辺と阪急茨木駅周辺の清掃奉仕活動を行いました。

この企画は、茨木市市民憲章の「環境をととのえて美しいまちをつくりましよう」の実践活動として、6月と12月の年2回実施している茨木市内一斉清掃に大学校友会が参加することが前提であり、その関連事業として校友会の企画渉外委員会が計画されたものです。



清掃奉仕活動の当日は、少々曇り空ではありませんでしたが、不快を催す暑さの中、全員オープンキャンパス用のTシャツを着て、「追手門学院大学校友会」明記のタスキ(スクールカラー)を掛け、金ばさみを手に持ち、もくもくとゴミを収集しました。今回のゴミ収集量は、70ℓのポリ袋に2袋、20ℓのポリ袋4袋を収集しました。

奉仕活動の目的は、日ごろお世話になっている地域社会への貢献とオープンキャンパス支援の二つの主旨があり、皆様のご支援ご協力により少しは果たされたのではないかと思います。酷暑の中、参加くださいました学生さんと校友会員の皆様には深く感謝するしだいでありま。

また、2回目、3回目の実施は8月4日(日)および9月16日(月・祝)に行いました。

地域文化創造機構 「連携考房 童子」

阪急茨木市駅前に地域連携拠点、「連携考房 童子」を開設しました。追手門学院大学では地域文化創造機構(機構長 山本博史)を立ち上げ、地域連携・社会貢献事業に取り組んでいます。駅前に拠点を開設して、地域の市民や子ども・学生、行政機関や関係団体、大学や研究機関などとの連携・協働を強力に進めていきます。お近くにお越しの際は是非ともお立ち寄りください。

「連携考房 童子」

大阪府茨木市永代町

4-202

阪急茨木市駅前

「Socio2」2階

ふたつの担当業務

広報委員長 鈴木 圭史
(経済学部経営学科・第29期)

すなわち、情報発信をすること。一般論として施策や業務内容などを一般の人に知らしめることがご承知の通り、広報活動の意味合いです。同窓会組織に置き換えると、母校・在校生・卒業生の情報を発信し、校友のみなさまに「懐かしんでもらう」ことが広

報委員長を拝命した私の担当業務なのかなと思います。そこで「懐かしんでもらう」ためにはどうすればいいのかを考えないといけません。これが非常に



が非常にむづかしい。今までは会報という紙媒体が主

流でした。これからはインターネットによる広報活動が重要なのです。よって、Facebook・LINE等でパン情報発信して、校友のみなさまに「懐かしんでもらう」を提供しよう。これが一番なのだ簡単に言いたいのですが、それでは片手落ちなのです。もちろん、インターネットでの情報発信は重要課題なのですが、インターネット情報は……、言い換えるとタイムラインは流れるとぼやとした記憶の中にしか残りません。加えて、流れるのを目のあたりにできないケースも多々あります。また、情報通信機器に関して得意不得意ということもあります。インターネットは幅広い世代に浸透していくように努力はしていますが、完全とまではいきれません。

そんなこんなでやはり、原点回帰ということで紙媒体の

会報です。これを継続的に充実する取組が必要です。今回は第76号会報です。歴史と伝統のある紙媒体の会報をしつかり次世代に引き継いでいくのも担当業務なのでしょう。重責を担うことになりましたが、みなさまのご期待に添えるように力をそそぐ所存です。

「校友会メールマガジン」へ登録を!

メールマガジンを携帯電話とパソコンに配信しています。メルマガ登録と携帯電話へのブックマークの登録をお願いいたします。

メルマガの受信は、パソコンと携帯電話、両方に登録できます。ご不明な点は校友会事務局までメールにてお問い合わせください。

メールマガジン



携帯電話用HP



メルマガ
http://ogu-koyukai.com/script/member_regist.php
携帯電話用HP
<http://www.ogu-koyukai.com/keitai/koyukaitop.html>

女子ラグビー紹介

人物ご紹介

後藤翔太

ヘッドコーチ1983年生まれ30歳、
元神戸製鋼キャプテン、SH、日本
代表8回、

宮田愛美さん

経済学部 ヒューマンエコンミ
学科1回生

辻本奈津さん
国際教養部英語コミュニケーション
学科1回生

林田隆行

追手門学院大学校友会会長

林田…初めまして、校友会会長の林
田です。今日はお忙しいところを
ありがとうございます。

後藤…後藤です。よろしくお願
いします。

宮田…宮田です。よろしくお願
いします。

辻本さんは、電車延着で少し遅れる。

林田…早速ですが、宮田
さんは、ラグビーを経
験されていましたか？

宮田…高校でやっていま
した。テニス部でした
が、担任の先生が男子
ラグビー部の顧問でし
たので、やってみない
かということで、他の
高校の友達と一緒に練
習する形ではじめまし
た。テニス部だったの
でラグビーは、週一回
位の練習をしていただけで、
菅平の夏合宿にも二回参加しまし
た。

林田…去年の大畑さんのセレクシ
ョ



ンは受けられたんですか？
後藤…彼女は受けていません。元々
就職が決まっていたのですが、去
年の12月に女子ラグビーの試合を
見に行つて、彼女のラグビーへの
取り組み姿勢、に惹かれて、スカ
ウトしました。

新チームを結成するときに、ラ
グビーの技能も大事ですが、それ
以上にチームの文化を作り上げる
ことを優先したいと思つていま
す。一生懸命取り組み姿勢、逃げ
ない気持ちが大切だと感じていま
す。そういった意味でチームの姿
勢、文化を創り出すために必要だ
と思つて、ぜひ来てほしいと誘い
ました。

林田…勝ち負けも大事ですが、大学
のクラブだから、むしろ教育とし
ての人づくりが大切で、もちろん
勝負にはこだわられるけれどそれ上
に頑張ろうという姿勢の方が大切
だということですね。

後藤…試合に勝つことは最終の目標
ですが、それを達成するためには
取り組み姿勢が必要で、それをま
ずチームとして持つこ
とが大事だと考えていま
す。

彼女はその意味でチ
ームを引っ張ってくれる
存在だと思つています。
林田…そういった意味で
は、4月から二人でス
タートして、まだチ
ームにはなっていない段
階ですね。ゲームが
できないことが却つて
幸運といえるのではし
ょうか。

後藤…そうですね。じっくりブレ
イヤーとしての基本を身に付けるこ
と、部員が二人だからこそできる
指導、人としてどう行動すべきか

といった事を教える事ができます
ね。こちらから言った言葉を受け
止めて、自分で感じながら変わっ
ていってほしいなあと思つていま
す。4月から4か月間ですが、彼
女たちは成長してくれていますし、
僕自身も負けていけないと感じ
ています。

林田…具体的な練習のスケジュール
について教えて
ください。



後藤…基本的には
授業の空時間に、
ウェイトトレ
ニングなどフ
ィジカルなトレ
ニングをして、授業が終わった5
時過ぎからグラウンドでラグビーの
トレーニングをという形です。

林田…創部するというこの大変さ
と楽しさは、私も二期生だったと
いうことでよく分かります。入学
記念品として校友会から贈つてい
る「青が散る」は、本学の1期生
宮本輝さんの作品ですが、ご自身
がテニス部だった時代に、テニス
コートを手作りで始めた話なんか
ができてきます。

創部として大変さとその反面の
楽しさ、面白さに加えて、201
6年のオリンピック競技に取り上
げられた事で目標もあるし、頑張
りがいがありますよね。
最初、二人ではじめることにつ
いてはどうでした？

宮田…以前はテニス部にいて、結構
部員も多くいたのに比べて、二人
なのであまり部活という感じはし
なかったです。
林田…個人的なトレーニングみたい
な感じ？

宮田…そうですね。

林田…どんなスポーツでも最後はチ
ームプレーになるんでしょうが、

それを支えるのは個人の力になる
と思うので、トレーニングから入
らざるを得ない今の環境は却つて
よかったと言えるのでしょうか？
ちよつと部活としては淋しいかも
しれないですが。

宮田…最初から人が多かったら、今
みたいに十分なトレーニングはで
きないかもしれないですね。その
点ではいいなと思
います。

後藤…ラグビーは個人
のフィジカルな力の
占める割合がすく
高い競技なので、そ
の強い個が集まつて、
組織的な理論的な事をやて行く
必要がありますね。それが勝につ
ながるので、今は個のフィジカル
が問われています。日本代表を目
指すのなら、むしろチームではな
く個人のフィジカルにフォーカス
を当てないといけないので、そこ
に力を入れて指導しなければと思
っています。チームを勝たせるだ
けならゲームをいかに行うかに焦
点を合わせますが、日本代表を送
り出すという事で行けば、なお
さらフィジカルを高める指導が必
要だと思つています。

林田…そこで2016年の話ですが、
目標に入っていますか？
(2016年のオリンピックで女
子ラグビーが競技に加わります)
宮田…入っています。でも今はまだ
自分の能力が低いので、目の前の
事に努力するのが精いっぱいです。
林田…今、個人的な能力目標を持
っていますか？

宮田…走るのが遅いので、早くなり
たいです。
林田…タイム的にいくら位？
後藤…ラグビーでは50m位の能力が
問われますが、代表に入ろうとし

たら6秒台が必要ですね。ただ、今
はまだ数字での目標を与えている
わけではなく、トレーニングの大
切さから入っています。もちろん
オリンピックに出られれば素晴らしい
ことですが、スポーツをやる
ことの意味は結果だけではないと
思っています。

ここで辻本さんが到着
遅れてきたので走ってきました。
普段のトレーニングは今日よう
な状況のためもあるよ、とコー
チから一言あり。

林田…皆さんは四十何期だったかな。
意識したことないですか。

2016年に大学は50周年を迎え
るんですが、みなさんが目標にし
ている年ですね。おそろしく47期
か48期ですね。辻本さんは何学
部？

(お二人は48期入学生)

辻本…国際教養です。

林田…宮田さんは？

宮田…経済です。

林田…それは志望した学部でした
か？

宮田…私は就職志望でしたから。特
には。

林田…そうでしたか。

辻本…？？？

後藤…志望したんだよね。(笑)

林田…私も社会学科でしたが、クラ
ブはアメ民で、どちらかというと
追大の社会学科というよりアメ民
というほうが意識が強いかもしれ
ません。授業もそこそこギタ
ーを鳴らしてフォークの練習ばっか
りしていました。(笑)

林田…辻本さんはどういう経緯で女
子ラグビーの道へはいられたので
すか？セレクションは受けられま
した？

辻本…受けていません。兄がラグビーをしていて、興味を持っていたけど機会がなくて……。オープンキャンパスで女子ラグビー部を作ることを知って入ろうと思いましたが。

後藤…昨年、大畑さんから女子ラグビー部をやるという話を聞いていて、セレクションもやるからと聞いていました。どうでしたと尋ねたら、全然来ないという話でしたね。(笑)

林田…でもよく二人、来てくれましたね。

後藤…そうです。

林田…ありがとうございます。(笑)

林田…辻本さんは自分の体力をこうしようという目標は持っていますか？

辻本…目標はまだありません。後藤…個人の数値目標はわざとまだ与えていません。

まず彼女たちにアスリートになってもらいたいです。トレーニングに慣れてもらいたいと思っています。そのあとですね

50m何秒とかの目標は、

宮田…テニスの時よりは、きついんです。高校の時は、器具とか使ったトレーニングはなかったですから。

最初、二人でランニングした時は、二人とも終わると同時にボタンでした。(笑)

林田…お二人はラグビーの知識をお持ちでしたか？

辻本…見るのは好きでした。花園とよく行きました。

宮田…私は、全く興味ありませんで



した。呼ばれてやってたという感覚で、ルールもノックオンとか簡単なものしか知りませんでした。花園の試合に出るという話から急にのめりこんだ感じですね。

林田…高校の花園の大会に女子のゲームがあるんですか？

後藤…男子の花園の試合の前に、開会式のとエキジビションで、女子の東西大会の試合があるんです。

林田…今、女子ラグビーの実態って

どうなんですか？数とか。

後藤…2600とか2700とか位

でしょうか。少しずつ受け皿が増えてきつつあります。

大学で部としてあるのは、日体大、立正大、流通経済大、後はうちと流通科学大学。立ち上げようとしているのが大工大とかあと数大学ありますね。

林田…男子のラグビー部があるところなんかはやりだそうとしているということでしょうか。でもまだまだ少ないですからタイミングとしてはいいですね、目標もあるし。

来年から、新入生が入ってきてチームになるのでしょうか？

後藤…そうですね。確実に

にチームにできると思っています。

林田…もし足りなかったらどこかクラブチーム

と一緒に作るということですね。

後藤…そうなりますが、

まず大丈夫です。むしろ対戦相手がいなくて、関東まで出かけないと

強いチームがありません。

林田…そうすると、来年からは5時以降でいよいよラグビーの指導が始まりますね。

後藤…いえいえ、まずとにかくやってみるということで、分かなかつたら教えるという手法で行くつもりです。海外へ行くのに英語を身に付けてから行くのか、とにかく行ってみてから覚えるのかという、出かけてから身に着ける方が絶対早いと思っています。レベルの高い人達と触れ合って、そのレベルの高さをまず体で経験してそれから知識を与えるという手法で行きたいと思っています。



賢者は歴史に学び、愚者は経験に学ぶという言葉がありますが、私も含めて普通の人間は本から知識を得るだけで物事を身に着けるのは難しいと思います。

彼女たちにはまず経験をさせた

いと思っています。

林田…通学時間は？

宮田…こちらに引越しているの

バス時間だけです。

林田…辻本さんは？

辻本…1時間半です。

林田…それはきついんですね。

後藤…彼女は頑張っていますね。実家からだけ長い通学時間なのに、8時過ぎに練習が終わって、遅くに帰ってから自分で洗濯したりして立派だなあと思っています。

だから余計にしっかり指導したいと思っています。

林田…コーチの熱い思いは伝わっていますか？

(二人うなづく)

後藤…やはり何事でも人間関係が大切ですね。思いが伝わっていないと、ただきついただけになってしまいますから。思いが伝わるよう

に努力して指導したいと思っています。

林田…最近、少し低調になっている

クラブ活動ですが、その中で、大学が力を入れて支援を始めた女子ラグビーですの、大学関係者全員が期待していると思います。

卒業生も母校の名前を世に出してくれる、広めてくれるということに期待していると思いますので、ぜひ頑張ってください。

大学もですが、校友会もできるだけ応援させていただきます。

後藤…ありがとうございます。ぜひよろしくをお願いします。

林田…最後に抱負を一言。ラグビー

に取り組む抱負を。

辻本…目標は、最終はオリンピックですが、まずは目の前の事を毎日こなしていつか、毎日成長できるようになることです。

林田…頑張ってください。宮田さんは？

宮田…オリンピックは夢ですが、オリンピック選手になるためには周りの人に勝たなくてはいけないので、今一緒に練習している人は上手な人ばかりなので、技術面でも体力でも勝てるように頑張りたいと思います。

林田…頑張ってください。夢を持つことが大事ですし、まず夢を持たないと達成できないですが、お二人はいい夢を持っておられると思います。

ぜひ夢を叶えるように日々頑張ってくださいと思います。夢は見るものではなくて叶えるもの、どなたでしたか言われていましたね。

頑張ってください。

今日は、ありがとうございます。

第22回 茨木市民 ウォークラリー大会

平成25年10月20日(日曜)

茨木市ウォークラリー協会

主催にて追手門学院大学も

後援し、茨木市ウォークラ

リー大会が開催されます。

参加することにより、地域文化を再発見し、相互の触れ合いをもち、健康と体力の増進をはかりたいと思います。

お問い合わせの後、お申し込みください。お問い合わせは、FAXまたはハガキにて、住所・氏名・年令・性別・電話番号を記載のうえ左記まで。

FAX

072-643-6099

〒567-8502

大阪市茨木市西安威

2-1-15

追手門学院大学

校友会事務局

栄えある
在校生

2013年度
津軽三味線
全国大会優勝!

対談

【対談者】

追手門学院大学
社会学部社会学科

佐山千尋さん

校友会会長

林田 隆行

林田会長(以下、林田)

最近の活動状況はいかがですか? 追手門学院関係のイベントで演奏をしてみらうことも考えています。

佐山千尋さん

(以下、佐山)

イベントなど、例えば新年会や新春の集いで演奏依頼が非常に多いんです。いまでも300くらいの余興をやらせていただきました。忙しいけどすごくやりがいがある。



最後にインパクトをつけたりします。曲の真ん中でもしつかりしますし、歌ってもらえる曲をいれ

りますよ。

林田 追手門学院の校歌もしつかりお願いしますね。

佐山 校歌ですか。正直、わからないです。(笑)でも、youtubeとかで勉強しときます。私はあまり、楽譜が読めないのにメロディを耳で暗記することが多いのです。

林田 絶対音感というやつが非常に優れているのでしょうね。才能ですよ。余興はどんな形式でやるのですか?

佐山 イベントごとに曲をチョイスします。15分とか30分とか時間の指定があればそれにしつかり合わせますし。やらせてもらうた

てみたいもします。

林田 お正月ならその雰囲気醸し出したようなこともしますか?

佐山 年越しライブのようなことをやります。大晦日の23時40分

ごろから開始して、年が明けたらそれに合わせて「はいお正月」や「と」のしのはじめのた

めしとて「をひくような感じでやりますよ。

林田 なるほど。遅ればせながら本題(笑。)ですが、全国大会優勝おめでとございます。初出場ですか?

佐山 ありがとうございます。全国大会は年に一回で弘前の桜まつりと同じ時期に開催されます。今年は満足のいく結果でした。大会には9、10歳ごろくらいから10回くらいでてると思います。年齢・経験年数・演奏時間等でジュニア・シニア・C級・B級・A級などの区分け



があります。師匠の推薦もあり、B級(3分以内のクラス)で演奏することになりました。

林田 A級とB級はやはり違いますか?

佐山 演奏時間が30秒違うんですが、この30秒が非常に大きいので

す。伝えたいフレーズを凝縮しないといけないのですが、ここ数年B級に出続けたのでA級になると表現の割振りが大変です。

林田 最後に、夢はなんですか?

佐山 伝統芸能である三味線を使っているいろんなところでパフォーマンズをしたいです。

林田 ありがとうございます。

この対談後日、佐山さんから記事が寄せられました。

私が目指す演奏、それは

聞いてくださる人とステージが同調し、その場面に居合わせた全員のソウルフルが一体化する、音の迫力で手拍子が巻き起こり、悲しい音色で涙し、外国の人は踊り出すような、ステージと心をひとつにさせるというパフォーマンスです。一度演奏を聞いた人にも『またコンサートにきたい』と思っただけの演奏を、そして何度聞いても新しい感動を味わってもらえるシヨを届けたいです。心と心が音楽で繋がる。その感動を分かち合えたらと思います。

日本一になって三味線を持つて世界中を回ること。世界中の人たちと音楽で繋が、色々な民族音楽とコラボをし世界中の人と心を繋げること。それが私の夢です。

佐山千尋

2013年11月4日
校友会総会会場で演奏して
いただけました。
どうぞお楽しみください。
10:30~11:30の間
約5分



追手門学院大学校友会では「校友会のPR」のため、ゆるぎやら(マスコットキャラクター)の原案及び母校にまつわる「4コマ漫画」を公募します。

最優秀賞1名1万円相当の商品券、優秀賞3名以内5千円相当の商品券、佳作5名以内3千円相当の商品券を贈呈するとともに会報への掲載及び評議員会にて表彰を予定しています。

応募要領

- 同封の応募用紙に必要事項とこの用紙の裏面に作品を記載の上、追手門学院大学校友会ゆるぎやら公募係、又は4コマ漫画公募係までご応募ください。
- 追手門学院大学在校生・卒業生であること。
- 未発表のオリジナル作品であること。

● ゆるぎやらについてはキャラクターの名称を必ずつけ、その由来も明記すること。

● 応募用紙に自由な表現で描いてください。

● デジタルでご応募される場合はファイル形式(JPEG、JPG)(GIF)(PNG)のいずれかで解像度350dpi以上で保存してください。そして、応募用紙をPDF化して添付送信をお願いします。

その場合、必ず件名は「ゆるぎやら公募」又は「4コマ漫画公募」としてください。

締め切り

平成25年11月10日必着のこと。

入賞者発表

平成26年1月末日頃、追

手門学院大学校友会HPにて公表をします。

なお、ゆるぎやら及び4コマ漫画は法令に基づき、すでに著作権及び商標権を有している物の使用は禁止するとともに、採用された応募作品の一切の権利(著作権、使用権他)は追手門学院大学校友会に帰属することが応募の条件となります。

応募作品送付先

郵送の場合

注意

A4用紙を折らずにご送付ください。

〒567-8502

大阪市茨木市西安威

2-1-15

追手門学院大学

校友会事務局

メール添付の場合

info@gu.koyukai.com

なお、ご応募作品は、お返しできませんのでご了承ください。

多くのご応募をお持ちしております。

大阪城スクエアのご案内

交通至便な場所にあり、大阪城が一望できるロケーションを持つ当施設には、大小さまざまなホールや会議室があり、講演会やコンサート、セミナーや会議等、学院の施設でありながら一般の方々にも広くご利用いただいている施設です。

卒業生の皆様におかれましても是非ともご利用いただきたく、ご来館をお待ちしております。

大阪城スクエア(ホール・会議室)ご利用に関する資料請求・お問い合わせ

〒540-0008

大阪市中央区大手前1-3

120(追手門学院大手

前中・高等学校本館6階)

TEL 06-6942-2788

FAX 06-6942-2744

http://www.otemon-

osakajo.jp

E-mail / info@otemon-

osakajo.jp

大阪城スクエア

イベントスケジュール

2013年度

第11回おうもん教育セミナー「1111の教育」連続

講演会 全8回

日時: 9月13日(金)、9月20日(金)、10月4日(金)、10月18日(金)、11月1日(金)、11月15日(金) 13:30~15:00 (13:00受付開始)

11月23日(土) 10:30~12:00 (10:00受付開始)

12月20日(金) 13:30~15:00 (13:00受付開始)

追手門学院 第6回文章表現コンクール『青が散る』Award表彰式

日時: 2014年2月1日(土) 13:00~

梅田サテライトのご案内

追手門学院 大阪梅田サテライトでは、学生の就職活動等を支援するとともに、学院・大学主催の行事、教育研究活動、産官学連携活動、卒業生の情報交換や交流の場として活用できる施設です。交通の便もよく、どなたでも幅広くご利用いただけます。

http://www.otemon.ac.jp/umeda/index.html